おおさかの生協の SDGSの取り組み





(実績は2020年度)

① エシカル消費を広げます

◆ 人や社会・環境に配慮したお買物を広げます













エシカルな商品の 161.3 の 年間の供給額

(前年比 125.8%)

◆ 食品ロスなど食品廃棄物を削減します



店舗の売れ残りや農産加工室から出た野菜の端材などをたい肥にリサイクルしています。それで野菜を作り、宅配や店舗で販売しています。

食品リサイクル率 **87.3** %



フードドライブでの **2,284** の 商品提供

1 対照を なくそう **ルギャイ・ボ** (前年比 375.0%

大阪いずみ市民生活協同組合

② 脱炭素社会・循環型社会・ 自然共生社会の実現をめざします



◆ 再生可能エネルギーをつくる・つかう・ひろげる



太陽光発電所の発電実績

<mark>つくる1,489.8</mark>万kWh

一般家庭の1年間の電気使用量 4,497世帯分

<mark>つかう</mark>

再エネ100宣言 《ARE Action語位

地球温暖化を防ぐため、再生可能エネルギーを普及しています。

ひろげる

コープでんきの利用世帯数 デる42,955世帯

#

16 平和と公正を すべての人に

③ 平和を求める声を広げます

◆ 被爆・戦争体験を継承します

組合員や組合員のご家族から、戦争体験を募集し、「私の戦争体験」文集を作成し、組合員に配布しています。 毎年作成しており、第42集となりました。





大阪よどがわ市民生活協同組合



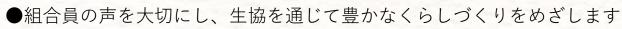
みんなが祭顔になる≪らしを実現する事類をめざします











- ●タイ産直登録バナナや一株トマトなど産直商品・よどがわ市民生協独自商品の普及をすすめます
- ●「食品ロス削減」「CO₂削減」「環境問題の啓発」をテーマにとりくみをすすめます

知りたり、学びたり を次切にして、



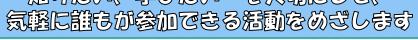












- ●直接会えなくても学習・交流できる場(おうちでひろば、オンラインひろば等)を積極的に展開しまで
- ●平和・憲法を知り、学び、広げる取り組みをします
- ●「書損じハガキキャンペーン」に取り組みます

ささえ合い、だれひとり取り覆さない安かしてくらせる社会、 地域づくいへの共同をすすめます

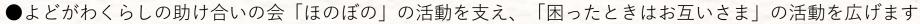












- ●身近な地域のことについて話し合う地域諸問題の活動にとりくみます
- ●地域の団体が主催する「子ども食堂」「フードバンク」などへの支援要請に応えます
- ●よどがわ保健生協と協同の「たまり場」づくりをすすめます

2021年2月マスコットキャラクター 『よどまる』誕生









あたりまえすぎて気付かなかったけれど、

実は30年前から

SDGSを実践していました。

グリーンコープは、30年前の設立当初から、「生命に寄り添う」生協として、生命を育む食 べものを大切にし、安心・安全な食べものを生み出す環境を考え、また平和のためにさまざ まな運動をすすめてきました。

今、世間ではSDGsを掲げる企業や団体が増えています。SDGs(エスディージーズ)とは 国連が2015年に採択した「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」に まとめられた17の目標。「誰ひとり取り残さない」をキーワードに、今世界で起きている地球 環境や気候変動、貧困、エネルギーの問題などの解決に向けて、2030年までの達成をめざ しています。

SDGsに掲げられた目標は、グリーンコープが生命を大切に思い、ずっと取り組んできた 運動とめざすところは同じ。私たちが当たり前にしてきたことでした。

健康を守る活動





















遺伝子組み換えではない国産のトマトケチャッ プの原料となる希少な加工用トマトの収穫援 農を3回企画しました。組合員、職員、ワー カーズと、家族やこどもが参加し、総計59人 で2.7 t のトマトを収穫しました。生産者、製 造メーカーも一緒に加わり、GCトマトケチャップ 2,700本分相当量を収穫しました。



SDGs × グリーンコープおおさか

環境を守る取り組み

環境を守る活動

















安心・安全求め原発のない社会をめざして グリーンコープでんきの取り組み



毎日使う電気だからこそ 原発に頼らずに安心できるものを



「グリーンコープでんき」の電源



大手電力会社と 共通の送電線



各家庭

原発に頼らない社会を 実現するために、組合員 が電力出資金を出し合 い、地域環境にも配慮し た発電所建設に取り組 んでいます。 これまでグリーンコープ全 体で11億円超の出資 がされ、原発フリーと CO2ゼロのでんき供給を 実現しています。

グリーンコープは環境を守るために できるだけプラスチックを使いません。

プラスチックを使えば安く簡単に商品包材ができるとしても、自然に あるものやリユース可能な素材があれば、できる限りそれを使います。

商品を使うことで

バス 約36台分! 1年間におよそ500トン ものプラスチックゴミを削減!

バス1台14tで換算



■1年間に回収しリサイクルしたプラスチックの重量 (2017年度実績) 食品トレー 商品を入れる 組合員が返して リサイクルする 仕分け袋

ことで減らした プラスチック 産直びん牛乳の ##134.5t キャップ

市販品の容器・包材(ペットボトル、プラスチックケース、チューブなど)

生活協同組合エスコープ大阪

食の自給、 遺伝子組み換え反対 種(しゅ)の自給・ 種(たね)の自給、 食の安心安全運動

協同組合運動・

地域コミュニティ・共済

「人と人がつながり、

支えあうことのできる

地域コミュニティ」





環境負荷を

減らし

持続可能な

暮らしづくり







































国産鶏種の「丹精國鶏」















※2019年度実績

日本の気候風土 に適応した丈夫な 鶏種の普及をめざ し、国内で三世代 にわたって育種改 良した国産鶏種。

2021年度 代表的な とりくみ

グリーンシステム※の推進と資源循環

※グリーンシステム(Garbage Reduction for Ecology and Earth's Necessity = 地球生態系のためのごみ減量システム)













ごみとCO2を出さず環境負荷を減らすために、 調味料やジュースなどの容器を数種類のR(リ ターナブル)びんに統一し、回収して再使用す る「グリーンシステム」に取り組んでいます。

2010年にエスコープ大阪は「生活クラブ連合会」に加入し、21都道 府県にある33生協と生活クラブ連合会を組織し、約41万人の組合員 と運動をすすめています。生活クラブ全体で取り組む「2030行動宣 言」はこちら→

サステイナブルなひと、

















生活協同組合 おおさかパルコープ











食品ロス削減のとりくみ

流通小売業として、発生する必要不可欠な食品ロスを、少しでも削減するとりくみを進めています。

- ●パルコープで発生する不要になった食品は、地域のフードバンク 団体に定期的に提供し、地域のさまざまな福祉施設や支援団体に 活用いただいています。
- ●パルコープみずから、パルコープ子ども食堂フードバンクを立ち上げ、エリア内の子ども食堂さんに、食材を配達し、活用いただいています。さらに 常温品、冷凍品だけの提供から、さらに店舗での廃棄農産品の提供や冷蔵商品の提供などを開始しました。
- ●フードドライブという活動です。 家庭にある不要な食材を、個人でフードバンクや、フードドライブ を行っている団体に寄付いただき、その団体をつうじて、無償で各 福祉施設や様々な生活困窮支援の団体に提供する活動のことを言いま す。このフードドライブ活動は、1市民が気軽に参加できる食品ロス 削減のとりくみとして、今、さまざまな分野で広がりつつあります。



フードドライブ回収BOXは、 会館・店舗などに設置しています。

生活協同組合コープこうべ じじ



社会的に弱い立場にある人へ の食料品提供の取り組み

2020年5月から7月にかけて米やカップ麺、レ トルト食品などの即食品の提供を呼び掛ける 緊急フードドライブを41店舗で実施しました。 地域の社会福祉協議会をはじめ、フードバン クや子ども食堂、シングルマザー支援団体、 大学生など100を超える団体に食料品(米・ 麺・餅など)を提供しました。2021年度はお 米の提供を推進しています。











高槻市社会福祉協議会へ提供

被災地へのタオル寄贈

令和2年7月豪雨災害で被災した地 域の生協へ、備蓄していたタオル約 3200枚を寄贈しました。また、水害 発生地域への支援とともに、コープ こうべの活動エリアが被災した際に 備え、タオル備蓄の取り組みを開始 しました。大阪北地区もコープおおいた へ寄贈し役立てていただきました。











フードドライブの常時受 付を全店舗へ拡大!







家庭で使いきれない余剰食品を持 ち寄って、食料支援につなげる 「フードドライブ」。2021年4月 から、全ての店舗(コープミニは ルミナス箕面のみ実施) でフード ドライブの常時受付を開始しまし



コープ箕面中央での状況

買い物支援を通じて 持続可能な地域づくり

買い物困難の課題に対処すべく、2011 年に「移動店舗」をスタートし、現在 9台が稼働。年間で10万人以上の方が 利用されており、停留所では井戸端会 議が行われるなどつながりが広がって います。また、自宅から店舗までを送 迎する「買いもん行こカー」は年々利 用者が増加。(大阪北地区ではコープ島本で 実施、現在40世帯の登録)













生活協同組合 🦭 コープ自然派 おおさか 🥕

豊かな自然環境を基盤とした 食べものづくり

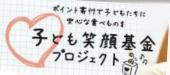
森から川やその沿岸、海に至るまでの環境は 、すべてが互いに影響しあい、その中にいる 私たちの行動も環境に大きな影響を与えま す。食と農と環境は一体。コープ自然派はこ の考えのもと、国産オーガニックの推進(農 薬の削減)、水産資源の保全、アニマルウェ ルフェアの取組、せっけんの推進、リユース・ リサイクルの取組、原発に反対する運動など 、持続可能な地域循環型社会をめざした食 べものづくりを行っています。



「誰ひとり取り残さない 持続可能な社会」への 実現に向けての取組み 2021

脱プラスチック問題への取組み

資源循環と廃棄物の削減のため、配達時に商品 案内(カタログ)や容器・包装を回収しています。 卵パックのモールド化を目指し、リサイクルの資 源となるカタログ回収率アップを紙面や会議など で組合員への呼びかけを継続し、ついに今年、 卵パックのモールド化をスタートさせることがで きました。初回注文時には人気のため抽選での 発送となりました。かわいいデザインは組合員か らの発案です。





有機の田んぼを守り増やしたい

昨年から取組を始めたビオトープ米は、地域全 体の生物多様性を保全し、コウノトリが一年中 暮らせる環境をつくることをめざしています。 生産者と共に段階的に農薬に頼らず、最終的 には地域まるごと無農薬化に取り組みます。

子ども笑顔基金プロジェクト

商品購入時に獲得したポイントを組合員が寄付すること で、そのポイントを組合員、組合員外の方にも安心な食 べ物を利用してもらう取り組みをスタートさせました。「 誰もが有機農産物を食べることができる社会」をめざし 、組合員同士の助け合いの力を子どもたちの未来を守 る取組につなげていきたいと考えています。



産地:徳島県 品種:コシヒカリ



生活クラブ生活協同組合 大阪

~持続可能な生産と消費 人間が人間らしく生きること~

生活クラブはSDGsの理念に通じ、かつ留まらない活動を実行していきます。 「第一次生活クラブ2030行動宣言」の8つの目標の取り組みの中から3つを紹介します。

The Part of the Pa

食料主権の考え方を基軸 とした、国内生産の追求 と、公正な調達を行ない ます。

> ■何世代にもわたって国内で育種し、 改良した「国産鶏種」を飼養している数



種の自給に挑戦し、鶏肉・ 鶏卵の「国産鶏種」の生産 と拡大に取り組んでいます。 地球の生態系を維持するため、海や 陸の環境保全と気候変動対策に取り 組みます。



ごみ、CO2削減 のしくみとして がんを回収「 再使用する「 リーンス」 に取り に取り でいます。



遺伝子組み換え やゲノム編集な どの遺伝子操作 を行なった食物 は、取り扱わな いこと基本と ています。



原子力発電所のない社会をめざし エネルギーの使用を「減らす」、 再生可能エネルギーを「つくる」、 「使う」を柱に、省エネルギーと 再生可能エネルギーの利用を すすめています。 誰もがその人らしく、安 心して生活を営める地域 と社会をつくります。



地域とともに作る「居場所」 子どもから大人まで多世代が交流し つながり、助け合い、さらに輪が 広がることを願っています。

《写真:枚方市 居場所 よりみち》

北大阪医療生活協同組合

健康と福祉を守る活動







- ・組合員のための無料健康診断の実施
- ・各種予防接種の実施
- ・禁煙外来を設置し、喫煙者の削減に 取り組む
- ・無料送迎を行い、すべての方に継続的 に医療を提供
- ・開発途上国の人材採用







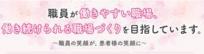
- ・実習生の受け入れ (看護師·管理栄養士)
- ・院外院内の研修への参加促進
- ・地域の方々へ健康教室や生活習慣病 予防の食事会の実施

平等で働きやすい職場作り活動















- ・男性の育休、介護休暇取得の促進
- ・女性職員の役職登用
- ・ジェンダー研修会参加
- ・働きやすい職場環境
- ・残業時間の短縮(定時帰宅)
- ・職員送迎の実施











- ·照明器具の L E D化
- ・電気自動車の導入
- ·IT設備導入による資源保護 (ペーパーレス化の促進)
- ・食品ロス解消活動に参加
- ・無洗米の利用

けいはん医療生活協同組合

教育・人材育成活動

けいはん医療生協独自の「まるごと通信教育」や健康づくり・まちづくり、職員のスキル・キャリアアップシステム等の仕組みづくりをすすめ、生協活動や暮らしの中での「困りごと」にこたえることの出来る人材育成に取り組んでいます。





まちづくり活動











暮らしの「主人公」である 地域住民とともに、この地域 で「ずっと元気にこの街で」 のスローガンのもと、貧困や 人権、憲法について学び、時 には懇談等も行いつつ、誰一 人取り残さない"つながり" づくりと支え活動に取り組ん でいます。

健康づくり活動









~おおさかまるごと~健康チャレンジをはじめ、サークル活動や健診受診後の結果学習会、生活習慣改善に向けた料理教室や体を動かすハイキングサークルなどで健康づくり活動をすすめています。

また、青空健康チェックなどで、 健康な暮らしのための運動もすす めています。

暮らしを守る活動







助け合い活動では、出会い・ふれあい・支えあいの会「あいちゃん」が介護保険では出来ないちょっとした「助けて」の声に応え、まちづくり・健康づくり等での「対話」から「困りごと」を持ちより、検討しています。また、自治体との懇談も行い、暮らしの中での生の「声」を伝える活動や食糧支援の活動も他団体と一緒にすすめるなど、くらしをまもる活動をすすめています。



よどがわ保健生活協同組合

- ・無料低額診療事業の実施(淡路診療所、コープこぶし通り診療所)
- ・フードバンクの開催(地域団体と共同して東淀川区で3回、淀川区で1回)
- 居場所づくりとして、区内3か所で「たまり場」(ほっこりサロン、コスモス憩いの家、なでしこセンター)を組合員が主体的に運営している。









生活困窮者支援の活動















コロナ禍で生活困窮する大阪教育大学 生への食の支援を、大阪府連と関係団 体の協賛を得て、大学と協力して実施 しました。

健康を守り、環境も守る活動













学内でペットボトル キャップを回収し、 ワクチン支援に活 かしました。

環境を守る活動

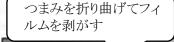


















容器製造エネルギーの削減の為、フィルムを剥がしてリサイクルできる弁当容器を使用し、学内で回収してします。







関西大学生活協同組合







関西大学と協調して困窮学生への支援を実施

100円朝食



100円夕食

・月~金 1日100~150食

・コロナの影響が終了するまでは

・400円相当(弁当形式)

継続したい

- ・月~金 1日200食
- ・400円相当(学生100円・ 大学200円・生協100円負担)



その他食の支援=

- ・大阪府生協連実施の困窮 学生への「食の支援」協力 一人暮らしの学生対象 コロナが流行してから、計4回実施
- ・日本非常食推進機構(JEFO)と 関西大学および生協が協定し、 賞味期限間近の食材を食堂にて利用



日鉄大阪生活協同組合

環境への取り組み



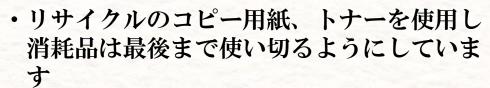












- ・ゴミの分別の徹底をしています
- ・セール時の景品としてエコバッグを配布し エコ意識の向上を図っています

違いを認め協力し合う









・ジェンダー平等や人・国の不平等への意識 を高める取り組みとして、まずお互いを認 め、職員同士が多岐にわたり協力し合うよ

うに努めています

健康への取り組み



・日本製鉄健保が主催する健康チャレンジに 職員全員が参加しています

助け合いへの志



・購買窓口横にガラス瓶を置き、募金を募っ て、労働組合が行う助け合いカンパへの協 力をしています

こくみん共済 coop 大阪推進本部 の SDG s に関する取り組み



2821Z010

7才の交通安全プロジェクト

横断旗を全国の 児童館・小学校などに寄贈







小学校に就学したばかりの「7才の交通事故による死傷者が突出している」という社会課題を解決するため、交通事故抑制に取り組んでいます。

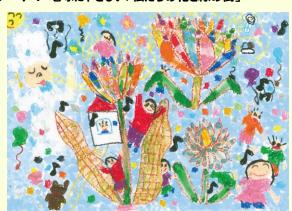
3 すべての人に 健康と福祉を

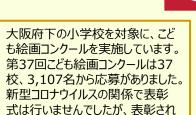
7才の交通安全プロジェクト

https://www.zenrosai.coop/ans hin/7pj

こども絵画コンクール

テーマ: 地球にやさしい「私たちの花と緑の街」





第37回子ども絵画コンクール

た絵画については当会のHPで掲

載しています。是非ご覧ください!

https://www.zenrosai.coop/zenkoku/osaka/2021/26835 html

防災・減災の取り組み





気軽に楽しく防災・減災の知識を学んでほしいと、家族層を対象にイベントを実施しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大型施設での防災イベント開催は延期となりましたが、オンラインを使用した活動を展開しております。





メディアを活用した啓発活動

東日本大震災から10年を迎えた2021年3月11日に、日本テレビ系列局で「今から1分後もし大災害が起こったら?命と未来と守る50の方法」を一社提供しました。



今だからこそ知って欲しい

今できるたすけあいプロジェクト

"新型コロナウイルスで体は慣れていても、 心の距離はつなげたい"今だからできる助 け合いプロジェクトとしてtwitterで募集し た「#ありがとうの手紙」を一冊の本にまと め出版しました。





全国労働者共済生活協同組合連合会 大阪推進本部

16





CCCP abetter world 大阪府生活協同組合連合会

消費者問題等への活動











府内の消費者団体と連携し、 消費者被害や食の安全等、消 費者に関わる社会問題に取り 組んでいます。

消費者支援機構関西(KC's) USJへ差止訴訟提起

環境を守る活動





















府内の消費者団体、環 境団体と、プラスチック ごみの問題に対して、 家庭のプラごみ調査活 動、連続学習会に取り 組んでいます。

健康を守る活動







「おおさかまるごと健康 チャレンジ」は、誰もが気 軽に参加できる健康づく りの取り組みです。昨年 は12,735名が参加。

農協さんから

生活困窮者支援の活動













大阪産米の提供

コロナ禍で生活 困窮する大学生 への食の支援を 実施。 この間、3回実 施しのべ約 6,500人に食 品等を提供。



大阪府と、大阪 府男女共同参画 推進財団(ドー ン財団)の女性 支援事業に参加。

チャレンジ2021のチラシと、イメージキャラクター A STATE OF THE STA